

荒川区内の民泊・簡易宿所どうなる!?

民泊事業	荒川ルールの策定
制限する地域	区内全域
制限する期間	月曜日正午～土曜日正午までは宿泊事業禁止(祝日を除く)。
近隣住民説明	事業開始前に周知を義務付け
届出住宅の公表	区として届出内容を公表する。
廃棄物処理責任	ごみ処理などの責任規定
苦情への対応	苦情内容の対応と記録、保管規定

外国からの旅行者は2016年には2000万人を超え、国は東京オリンピックには4000万人をめざすとしています。そのため、政府は、民泊解禁、「旅館業法」の規制緩和をすすめています。今年6月施行。届出事務などは、区の仕事になるため、生活環境への影響などを配慮して、民泊規制条例を提案、左記のように法律よりもきびしい内容にしています。マンション内での宿泊事業を管理組合が許可するかどうか明確にする規定整備や特別議決なども呼び掛けられ、すでに策定した管理組合



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています

日本共産党荒川区議団

小林行男

ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 683
2018.4.29

区議会控室
TEL 3802-4627
FAX 3806-9246
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp

ホームページ
http://www.tcn-catv.ne.jp/jcpara/

東尾久相談室
東尾久2-37-3
TEL・FAX
3895-0508

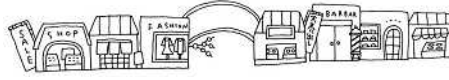
「荒川区民泊条例」「荒川区旅館業法施行条例の改正」が審議

違法民泊で、騒音やゴミだしなど近隣トラブル、事件、事故が大きな社会問題になっています。住民にとっても、滞在者にとっても安心して暮らしやすい街づくりが大切です。

住民の不安を解消できるルールをしっかりとつくりたいものです。

も増えています。また、「民泊」に限らず簡易宿所(ゲストハウスなど)の進出も進められそうです。現在、日暮里・南千住で4カ所建設予定地があります。また、町屋や西日暮里では、新築マンションが一人の入居者もないうまま、突然「旅館業営業」計画のお知らせ看板が出された物権もあります。

住んでよし、訪れてよしの荒川へ



視力障害者の方たちとJR日暮里駅調査



すべてのホームにホームドアを



柱にラバーを。点字ブロックの改善を

4月12日、東京視力障害者協会のみなさん、山添拓参議院議員と一緒に区議団の代表がJR日暮里駅の調査を行いました。何よりも命、第一に対策を進めてほしい」とホームドアの全ホームに設置。駅から公道への点字ブックが途切れているなどの改善などの要望がだされました。誰にでも優しい街に!

あらかわ市民アクション・憲法集会



4月22日「安倍政権の9条改憲反対、退陣を求めるあらかわ市民アクション」が行われた。市民団体、個人、労働組合の違いを乗り越え220名を超える参加で、

荒川公園から町屋駅前を歩いて多くの区民に訴えました。沿道からも多くの声援をうけ、プラカードや風船など受取参加者も大いに励まされ元気の出るパレードとなりました。実行委員会は引き続き、宣伝活動なども継続して行うこととしています。

5月3日は憲法集会(左)



法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。また、暮らし・区政などのご相談はいつでもお気軽に

5月の相談会は、
5月22日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

「尾久初空襲」を語りつなぐ九中での公開授業!

絶対に風化させてはいけない
史実が尾久にはある!

太平洋戦争中に米軍機が初めて本土を襲った「ドーリットル空襲」で、最初に爆弾が落ちた荒川区の「尾久初空襲」を伝える公開授業が十九日、地元

の区立第九中学校でありました。区内に住む紙芝居師の三橋とらさんが、尾久初空襲の体験談をまとめた紙芝居（おじいさんの絵）を上演。現代の男の子が初空襲が描かれた絵を見るなどして戦争や平和を考えるストーリーで、三橋さんは声色を変えながら、テンポよく語りました。

最後に、「家族や近所のおじいさん、おばあさんにも当時のことを聞いてみて」と呼び掛けた。

公開授業には「尾久初空襲を語り継ぐ会」が協力して、この間毎年近隣の中学校で開催しています。この



生徒と地域の住民の皆さんに尾久初空襲の紙芝居をする三橋とら（紙芝居師）大型スクリーン（下）で観賞しました。



1942年4月18日飛び立つB25爆撃機。



「こうした歴史の史実を私たちの世代も語り継がなければいけない」などの感想が寄せられていました。

生徒からは、会のメンバーで、初空襲を体験した堀川喜四雄さん（85才）も登壇。「戦争はこりごり。戦争の悲惨さを知らない人に伝えていく必要がある」と。

昭和20年3月10日の東京大空襲は多くの方がご存知だと思いますが、日本が受けた初の空襲は、昭和16年12月8日に日本軍によって決行されたアメリカの真珠湾への攻撃から4ヵ月、その報復としてB25が東京に奇襲攻撃。昭和17年4月18日、日本で初となる空襲の被害を受けたのがこの尾久地域です。当時の言論に対する取り締まりや、軍部の意図的報道などの歴史的背景もあり、地元の方々には60余年の間忘れることに努め語られることはありませんでした。平成21年には地域町会、行政、小中学校などが協力して「尾久初空襲を忘れないコンサート」がスタート。現在中学校で毎年公開授業として受け継がれています。また、未来を託す子どもたちに初空襲の史実を伝え、平和への願いを共有したい思いから熊野前保育園横に案内掲示があります。



「流行に遅れていて、世間とはズレている」ことを「世間ずれ」と思う人が三十年代以下では四割以上という結果が、2004年度の国語調査で示されました。さらに2013年度国語調査では十代、二十代のおよそ八割が「ズレている」と思い、全体でも過半数になっています。

世間ずれ

本来の意味は「世間を渡ってきて苦労を重ねたので、ずる賢くなっている」ことを指します。間違える原因は「ずれ」を位置がずれる、出発がずれるの「ずれる」と受け取ってしまうからです。正しくは「こすれる」の「擦れる」で「靴ずれ」と同じ「ずれ」なので

『「赤旗」は、言葉をどう練り上げているか』より

The 10th Anniversary
10th
第10回
あらかわ
バラの市
2018 5月19日[土]
18時 町田駅前広場、ゆいの香あらかわ
9:30 式典（町田駅前）

- バラの市実行委員会
- 町田バラ園実行委員会
- バラの育て方講習会
- キルトファンタジーアート展示会
- 町田駅前広場ライブステージ
- あらかわバラの市振替り上げ募金コーナー
- ヘアアクセサリーによる大発表
- 全開演場を会場「アース」による特別観覧



異常な国会、一連の疑惑・不祥事にまともに対応しようとしぬ安倍政権。圧倒的多数の国会の中で何をしてもいいと思っているのでしょうか？国民の声で追いつめたいものです。5/1はメーデーです。「働き方改革」と政府はいつているが、実態は過労死や長時間労働を増やす改悪です。働くものの生活と権利、そして平和を守りましょう。